

飛騨高山観光特集

古い町並にたたずみ、温泉に浸かり、歴史と文化に触れる 飛騨高山の旅で心身の解放を

新型コロナウイルスの影響は飛騨高山（岐阜県高山市）にも及び、町を歩く観光客の姿もまばらだ。しかし、江戸時代の商家が今なお残る古い町並は静かな雰囲気に入れ、本来の姿をみせる。高山祭、桜、奥飛騨温泉郷など、魅力は決して色あせることなく、観光客の旅情を誘う。コロナ終息後には足を運び、ステイホームで溜まったストレスを思い切り発散しよう。



中橋を渡る屋台。桜の開花時期と重なると、息をのむ美しさだ

絢爛豪華な時代絵巻「高山祭」



県指定天然記念物の西光寺の枝垂れ桜

心揺さぶる桜の競演

春の到来告げる
見事な枝ぶり

飛騨高山の春を彩るのが美しい桜。県指定天然記念物の荘川桜（荘川町、国指定天然記念物の臥龍桜（二之宮町）など見応えのある桜が至るところにある。

枝垂れ桜は西光寺（清見町）や薬師堂（朝日町）などにもあるが、青屋神明神社の枝垂れ桜（朝日町）は水田に映る姿がとても印象的だ。見頃は4月下旬から5月上旬で、開花時期にはライトアップされ、美しさが際立つ。ぜひ見ておきたい。

また、西光寺の枝垂れ桜（県指定天然記念物）は樹齢800年以上と推定され、県下でも珍しい枝垂れ桜の巨木・ヒガンザラの変種といわれ、毎年地表に覆い被さるように花を咲かせる。

幹の形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられたのが臥龍桜。樹齢1000余年で、枝ぶり30センチ、高さ20メートルに及ぶ日本を代表するエドヒガンザラの大樹。4月中旬から臥龍公園で「桜まつり」が開催され、大勢の見物客でにぎわう。

高山祭は春の「山王祭」（毎年4月14、15日開催）と秋の「八幡祭」（同10月9、10日開催）の総称。山王祭は城下町の南半分の氏神様である日枝神社（山王様）の例祭で、上之町・上之町・上三之町などが舞台になる。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、今年の山王祭は規模を縮小するものの、例年通り4月14、15日に開催する。感染予防対策を徹底した上で神事のみを行い、屋台の曳き揃え、かきり奉納、夜祭りは中止する。

一抹の寂しさはあるが、12台の屋台はそれぞれの屋台蔵で公開されるので、神楽や龍神台などそれぞれの屋台の意匠の見事さは堪能できる。ワゴン接種も始まり、これが行き渡ればコロナの収束も見込まれる。そうならば八幡祭は通常通りの開催でさうだ。

個性豊かな五つの温泉地

奥飛騨温泉郷は100を超える露天風呂

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈（北アルプス）の麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、板尾、新穂高の五つの温泉地がある。

高山市内からはバスで1時間ほどの距離。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫できる。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からのアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買うことができる。奥飛騨や新穂高の古民家を移築、改装した宿も多し。

飛騨高山を象徴するイベントが「高山祭」。高山祭の屋台行事はエッセイ無形文化遺産であり、その絢爛豪華さが日本三大美祭の一つに数えられる。高山祭は春の「山王祭」（毎年4月14、15日開催）と秋の「八幡祭」（同10月9、10日開催）の総称。山王祭は城下町の南半分の氏神様である日枝神社（山王様）の例祭で、上之町・上之町・上三之町などが舞台になる。



奥飛騨温泉郷の中で一番古くからある平湯温泉

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈（北アルプス）の麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、板尾、新穂高の五つの温泉地がある。

高山市内からはバスで1時間ほどの距離。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫できる。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からのアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買うことができる。奥飛騨や新穂高の古民家を移築、改装した宿も多し。

飛騨高山を象徴するイベントが「高山祭」。高山祭の屋台行事はエッセイ無形文化遺産であり、その絢爛豪華さが日本三大美祭の一つに数えられる。高山祭は春の「山王祭」（毎年4月14、15日開催）と秋の「八幡祭」（同10月9、10日開催）の総称。山王祭は城下町の南半分の氏神様である日枝神社（山王様）の例祭で、上之町・上之町・上三之町などが舞台になる。

ロープウェイで天空散歩

新ゴンドラ登場

日本で唯一の2階建てゴンドラ「新穂高ロープウェイ」。北アルプスの絶景を楽しめる最大級の観光施設。奥飛騨温泉郷にある西郷公園駅と、かつての約2・6キロを約7分で結ぶ。

期間限定で夜間運行「星空観望便」もあり、雄大な北アルプスと共に見るの星をみる。奥飛騨温泉郷の活性化にもつながる。奥飛騨温泉郷の活性化にもつながる。奥飛騨温泉郷の活性化にもつながる。

奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯めぐり」が宿泊客に好評。豊富な湧出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しめる手形だ。

手形は一枚1200円。手形に付いている枚の入浴利用を、温泉郷の15の加盟施設からお気に入りの温泉を選んで入浴できる（施設による枚数が異なる）。

シルをほかと下地に温泉のマークが印刷されており、三つそろって記念品となるチャンス。また、温泉郷にある21店舗で割

散策に最適な東山遊歩道

寺院や神社群

観光名所・古い町並から徒歩約10分、しっかりと落ち着いた雰囲気を漂わせるのが東山エリアで、散策にはもってこいの場所だ。

多くの寺院や神社があり、風情ある建物や庭園をゆっくりに巡れる「東山遊歩道」（全長5・5キロ）が整備されている。高山の礎を築いた戦国武将



市指定文化財の鐘楼門がある雲龍寺



わが国唯一の2階建てゴンドラ